

WHO 伝統医学・相補代替医療(TCI)基準およびヨーガ専門家教育内容基準

1. 資料の概要（Overview）

WHO（世界保健機関）が策定した伝統医学・相補代替医療（TCI）の教育基準概要および『WHO ヨーガ専門家教育内容基準（5.2.1 項 根拠に基づく疾患特異的ヨーガ療法介入パッケージ）』の原文・日本語訳が含まれています。

2. WHO 伝統医学・相補代替医療（TCI）専門家教育内容基準 一覧

WHO が発行する伝統医学・相補代替医療（Traditional, Complementary and Integrative Medicine: TCI）分野の専門家教育内容基準（Benchmarks for Training）の一覧です。

分野・領域（日本語）	WHO Benchmark Title（英語）
アーユルヴェーダ 医学専門教育内容基準	Benchmarks for Training in Ayurveda
自然療法 専門教育内容基準	Benchmarks for Training in Naturopathy
タイマッサージ (Nuad Thai) 専門教育内容基準	Benchmarks for Training in Nuad Thai
整骨療法 (Osteopathy) 専門教育内容基準	Benchmarks for Training in Osteopathy
中国医学 専門教育内容基準	Benchmarks for Training in Traditional Chinese Medicine
中国マッサージ (Tuina) 専門教育内容基準	Benchmarks for Training in Tuina
ユナニ (Unani インド) 医学専門教育内容基準	Benchmarks for Training in Unani Medicine
ヨーガ専門家教育内容基準 ★重点指定	Benchmarks for Training in Yoga

3. WHO ヨーガ専門家教育内容基準（5.2.1 項）

WHO 技術報告書『Training in Yoga』第 5 章 5.2.1 項「根拠に基づく疾患特異的ヨーガ療法介入パッケージ（Evidence-based, disease-specific Yoga therapy intervention package）」の本文および日本語訳です。

【5.2.1 ヨーガ原理の理解と適用（Part 1）】

■ 英文原文 (English Original):

The trainee is taught to understand and apply Yogic Principle concepts such as Panchkosha, Vivek, Triguna, Mitahara, Aadhija Vyadhi etc, during the practice of conventional, evidence-based medicine, with knowledge of the holistic approach of Yoga practices to correct physical, mental, emotional and intellectual imbalances for cognitive-behavioural change.

■ 日本語訳 (Japanese Translation):

研修生は、従来のエビデンスに基づく医療の実践において、パンチャコーシャ（Panchkosha）、ヴィヴェーカ（Vivek）、トリグナ（Triguna）、ミタハラ（Mitahara）、アーディジャ・ヴィヤーディ（Aadhija Vyadhi）などのヨーガ原理の概念を理解し適用することを学ぶ。これには、身体的・精神的・感情的・知的な不均衡を是正し認知行動変容をもたらすヨーガ実習のホリスティックなアプローチに関する知識が含まれる。

【5.2.1 症例に応じたヨーガ介入パッケージの設計（Part 2）】

■ 英文原文 (English Original):

The trainee learns to design and monitor a patient-specific, specialized Yoga intervention package and deliver safe Yoga services adapted to the patient's health condition and capacity, and to re-evaluate findings and document any modifications to treatment plans.

■ 日本語訳 (Japanese Translation):

研修生は、患者特有の専門的なヨーガ介入パッケージを設計およびモニタリングし、患者の健康状態や能力に応じた安全なヨーガサービスを提供し、所見を再評価して治療計画の変更を文書化することを学ぶ。

4. 関連著書・参考書籍案内

ヨーガ療法の科学的メカニズムに関する書籍情報のご案内

『ヨーガ療法の RNA 遺伝子発現と認知行動療法 ～ヨーガ療法実習のメカニズム～』

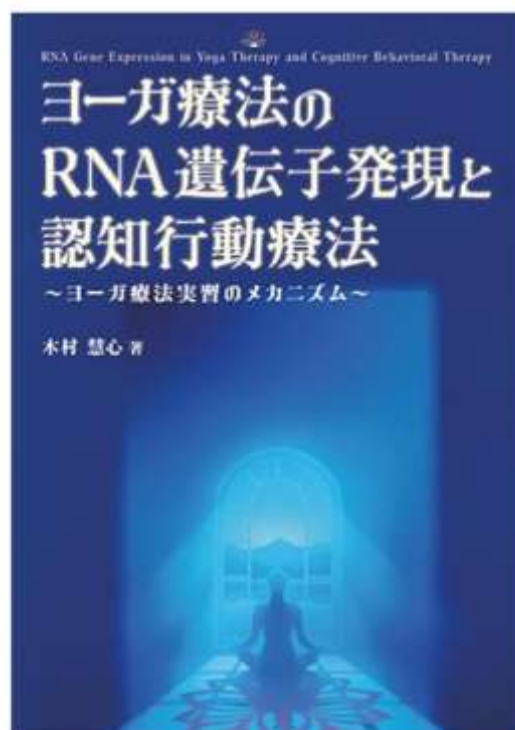
著者: 木村 慧心 著

■ 本書の特徴:

- ✓ 数千年の叡智を科学で解明！
- ✓ ヨーガ療法の実践とその科学的根拠
- ✓ RNA 遺伝子発現レベルでの分析
- ✓ ヨーガ療法の基礎理論
- ✓ 認知行動療法との統合的アプローチ

■ こんな方におすすめ:

- ✓ 健康長寿の秘密を知りたい方
- ✓ ヨーガ指導者・実践者
- ✓ 心理療法に関心のある方
- ✓ 科学と伝統の融合に興味がある方



■ 定価・購入情報: (お買い求めは Amazon へ)

日本語版 QR コード



定価 4,000 円

English Edition QR code



List price: US\$34

5. 補足解説 : WHO 技術報告書との関連

WHO（世界保健機関）が策定した『Training in Yoga - technical report』は、伝統的・補完的医療の標準化と安全性確保を目指すグローバルな指針です。本資料で取り上げられている 5.2.1 項は、医療従事者やヨーガ療法士がエビデンスに基づき、患者や受講者の状態に合わせた疾患特異的介入を行うための最重要コア要件を示しています。